■銀鱗Ⅳ型（緩傾斜用）

特　　長

●棲息する魚介類が活動しやすく、自由に出入りすることができます。
●水流が減勢され、過流となって回動し、溶存酸素の増加をもたらします。
●適度の陰影を構成し、水草や藻類の成育によい環境をつくります。
●ブロックは1m²/個に大型化され、工期は大幅に短縮されます。
●ブロックは護岸の法勾配に合わせて、選択することができます。

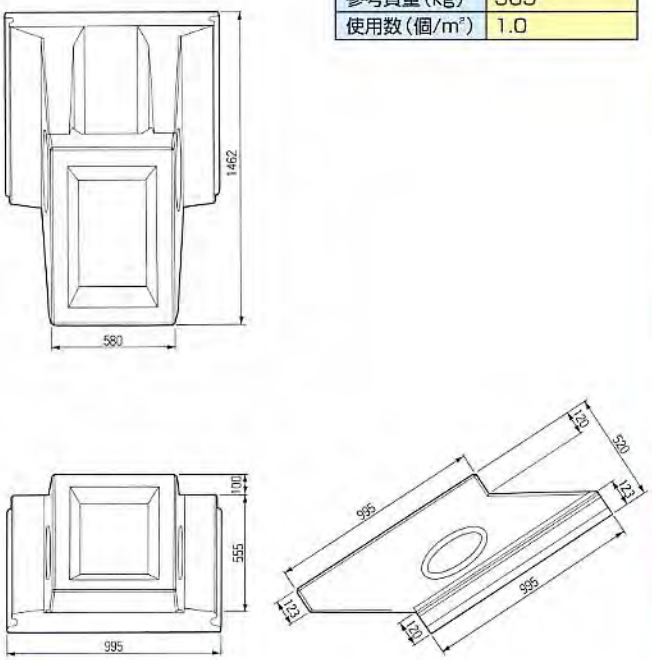
■規格諸元

呼び名			使用区分	主要部寸法 (mm)	体積 (m³)	参考質量 (kg)	使用数 (個/m²)
Ⅳ型	1.5割	A形	基本	995×995×520	0.2476	569	1.0
		B形	側端	995×495×520	0.1064	244	——
		C形	天端	995×995×520	0.2383	548	——
		D形	天側端	995×495×520	0.1033	237	——
	2.0割	A形	基本	995×995×520	0.2473	568	1.0
		B形	側端	995×495×520	0.1060	243	——
		C-1形	天端	995×995×520	0.1577	362	——
		C-2形	笠石	200×995×520	0.1075	247	——
		D形	天側端	1195×495×520	0.1137	261	——

A形

規格諸元

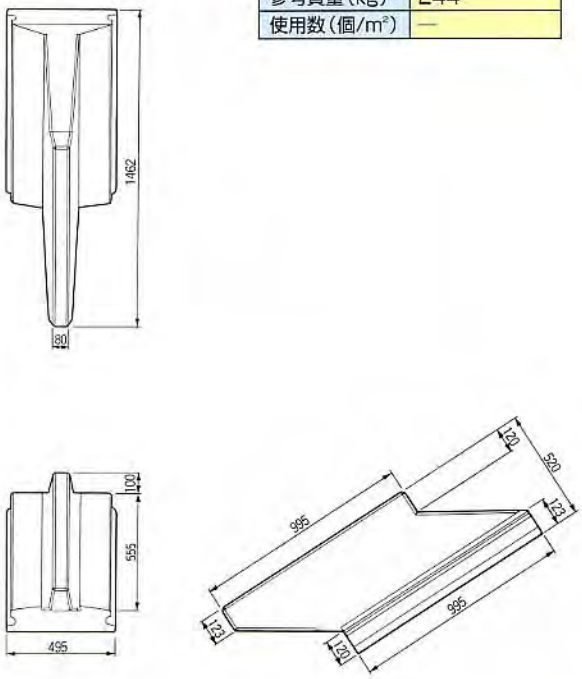
呼び名	A形
使用区分	基本
主要部寸法(mm)	995×995×520
体積(m^3)	0.2476
参考質量(kg)	569
使用数(個/m^2)	1.0



B形

規格諸元

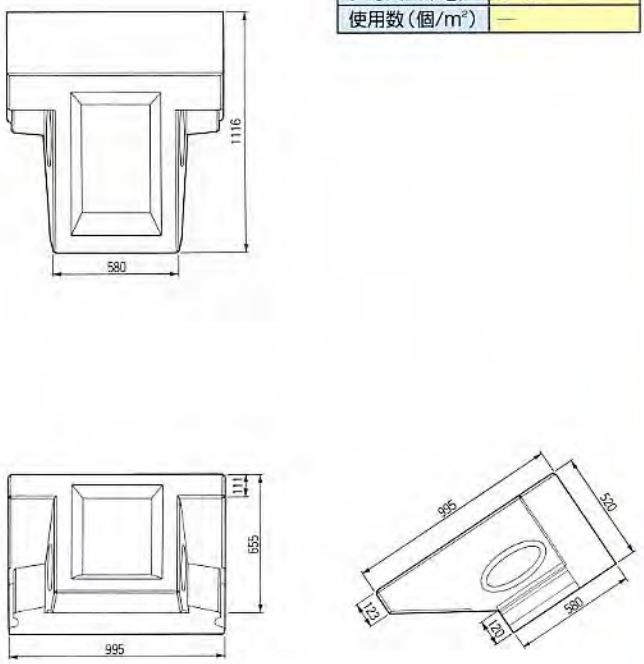
呼び名	B形
使用区分	側端
主要部寸法(mm)	995×495×520
体積(m^3)	0.1064
参考質量(kg)	244
使用数(個/m^2)	—



C形

規格諸元

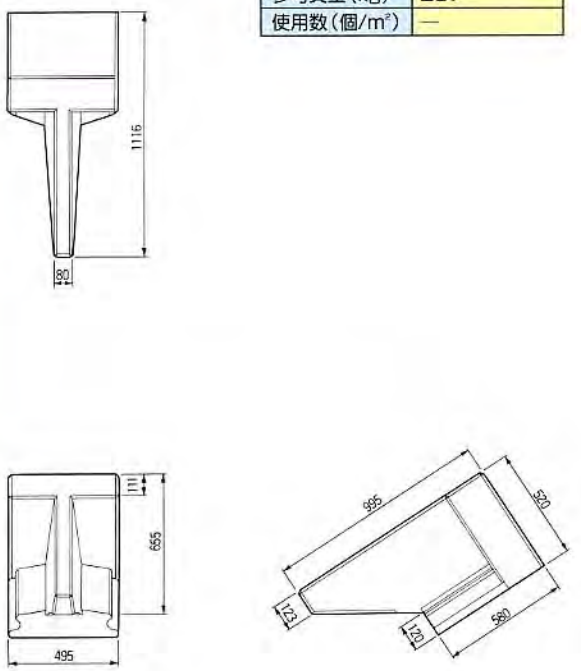
呼び名	C形
使用区分	天端
主要部寸法(mm)	995×995×520
体積(m^3)	0.2383
参考質量(kg)	548
使用数(個/m^2)	—



D形

規格諸元

呼び名	D形
使用区分	天側端
主要部寸法(mm)	995×495×520
体積(m^3)	0.1033
参考質量(kg)	237
使用数(個/m^2)	—



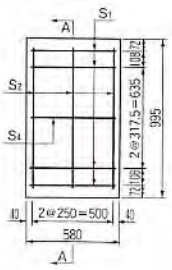
■配筋図Ⅳ型 1.5割

A形

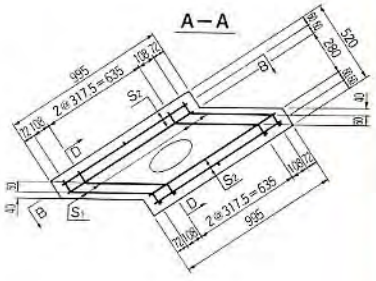
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	1.770	4	7.080	0.560	3.965	
S2	φ6	0.875	10	8.750	0.222	1.942	
S3	φ6	0.855	5	4.275	0.222	0.949	
S4	φ6	0.520	1	0.520	0.222	0.115	
計						6.971	

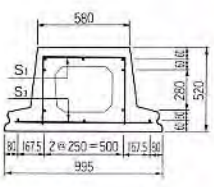
B−B



A−A



D−D

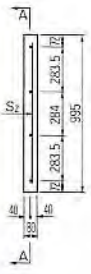


B形

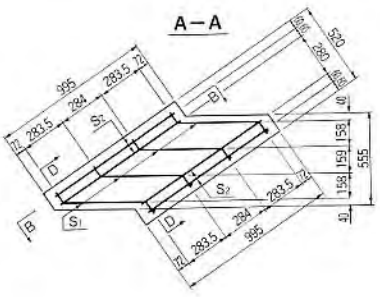
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	0.645	4	2.580	0.560	1.445	
S2	φ6	0.875	5	4.375	0.222	0.971	
S3	φ6	0.355	4	1.420	0.222	0.315	
計						2.731	

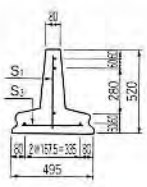
B−B



A−A



D−D

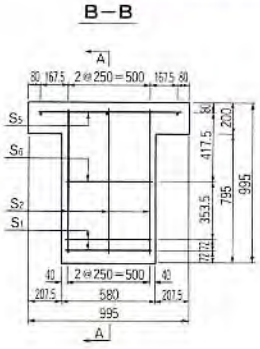


C形

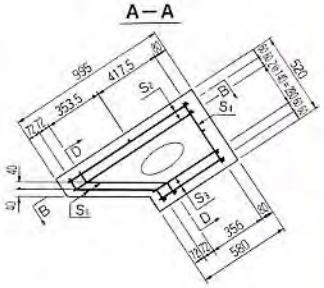
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	1.770	2	3.540	0.560	1.982	
S2	φ6	0.865	5	4.325	0.222	0.960	
S3	φ6	0.450	5	2.250	0.222	0.500	
S4	φ6	0.420	3	1.260	0.222	0.280	
S5	φ6	0.855	7	5.985	0.222	1.329	
S6	φ6	0.520	1	0.520	0.222	0.115	
計						5.166	

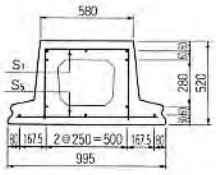
B−B



A−A



D−D

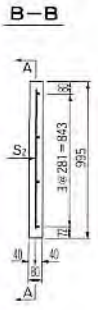


D形

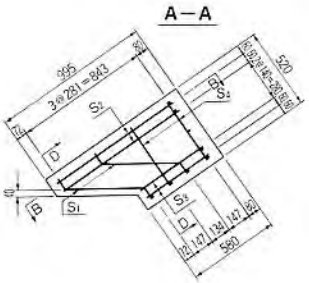
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	0.645	2	1.290	0.560	0.722	
S2	φ6	0.865	2	1.730	0.222	0.384	
S3	φ6	0.450	3	1.350	0.222	0.300	
S4	φ6	0.420	4	1.680	0.222	0.373	
S5	φ6	0.355	8	2.840	0.222	0.630	
計						2.409	

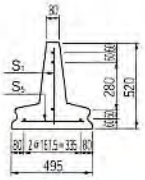
B−B



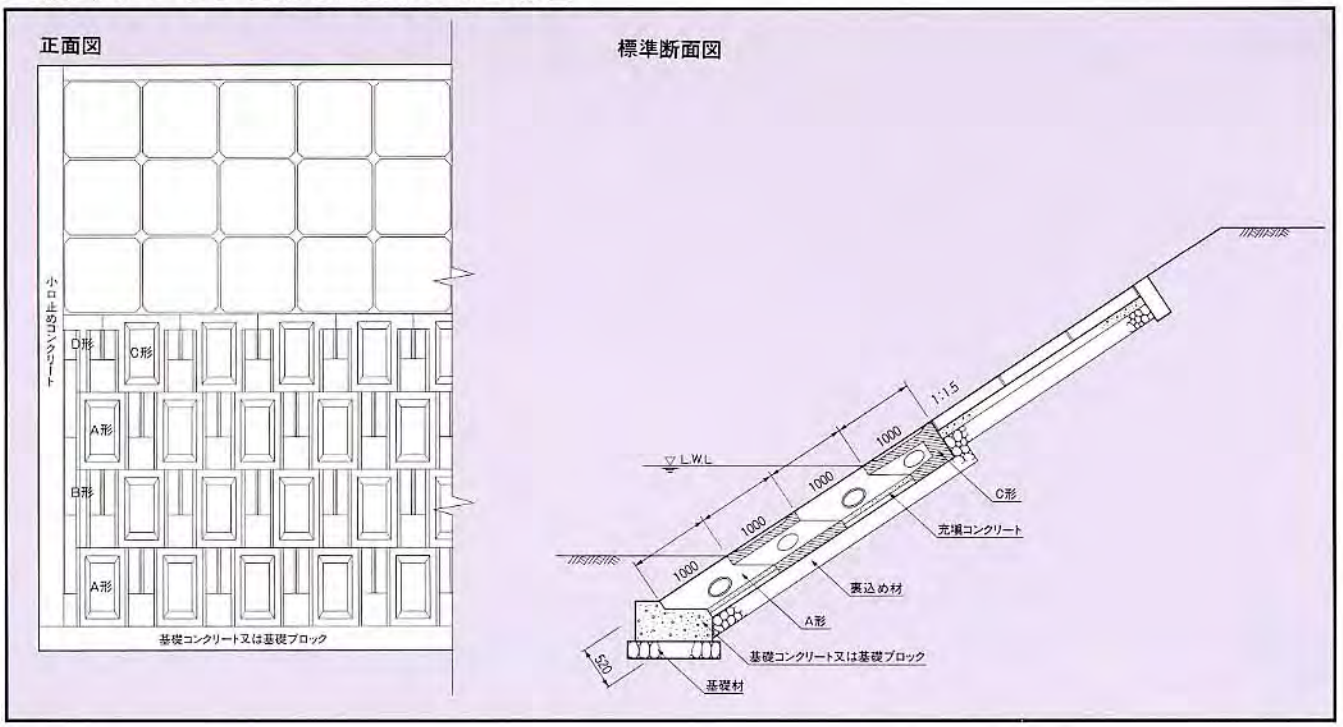
A−A



D−D



■積みブロックと組み合わせた場合



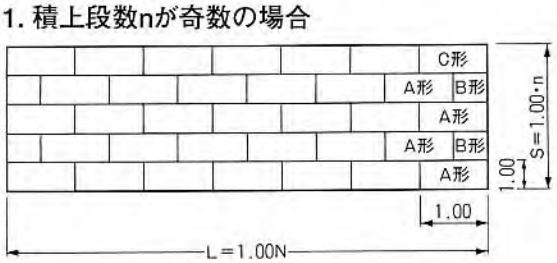
■数量算出式

施工区画に対するブロックおよび充填コンクリートの標準所要量は次式によって求めます。

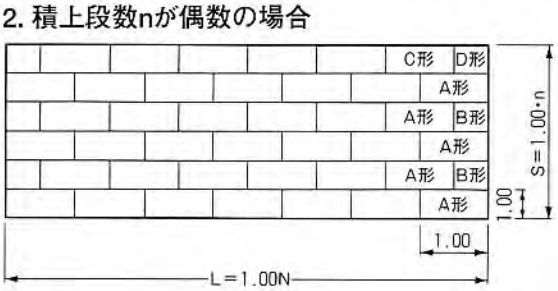
呼び名	積上段数が奇数の場合	積上段数が偶数の場合
A 形	$N_A=(L-0.5)\cdot(S-1)$	$N_A=L\cdot S-L-0.5S+1$
B 形	$N_B=S-1$	$N_B=S-2$
C 形	$N_C=L$	$N_C=L-1$
D 形	———	$N_D=2$
充填コンクリート量	$V_C=0.0059N\cdot n-0.0037N-0.0030n+0.0007$	$V_C=0.0059N\cdot n-0.0037N-0.0030n+0.0037$

N_A:A形のブロック数(個)
N_B:B形のブロック数(個)
N_C:C形のブロック数(個)
N_D:D形のブロック数(個)
V_C:充填コンクリート量(m^3)
S :施工法長(m)
L :施工延長(m)
N :延長方向の施工列数
n :法長方向の施工段数

1. 積上段数nが奇数の場合



2. 積上段数nが偶数の場合



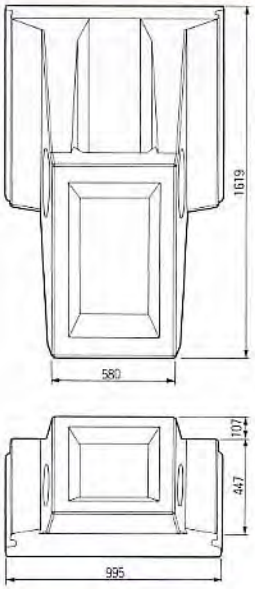
注) 施工区画は矩形を標準とし、曲線部の場合は別途算出します。

■数量算出例

区分		単位	施工延長 20.00m							
積上段数		段	1	2	3	4	5	6	7	8
施工法長		m	1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	7.00	8.00
施工面積		m^2	20	40	60	80	100	120	140	160
ブロック	A 形	個	0	20	39	59	78	98	117	137
	B 形	個	0	0	2	2	4	4	6	6
	C 形	個	20	19	20	19	20	19	20	19
	D 形	個	0	2	0	2	0	2	0	2
充填コンクリート量		m^3	0.042	0.160	0.272	0.390	0.502	0.620	0.732	0.850

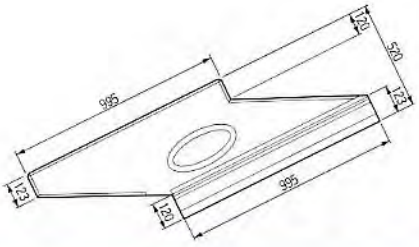
■規格寸法図Ⅳ型 2.0割

A形

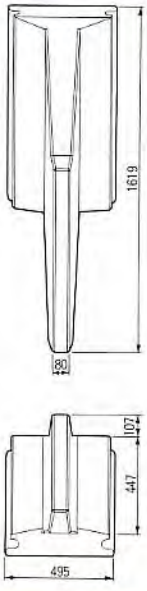


規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
A形	基　本	995×995×520	0.2473	568	1.0

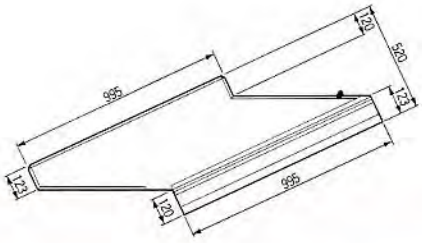


B形

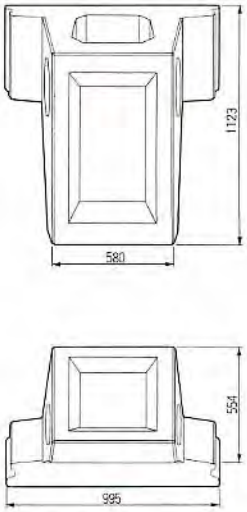


規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
B形	側　端	995×495×520	0.1060	243	―――

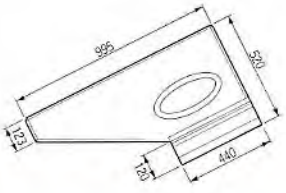


C-1形



規格諸元

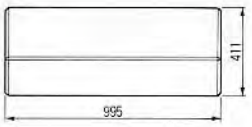
呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
C-1形	天　端	995×995×520	0.1577	362	―――

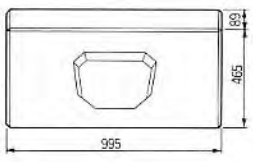


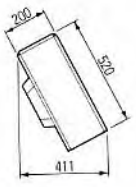
C-2形

規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
C-2形	笠　石	200×995×520	0.1075	247	―――



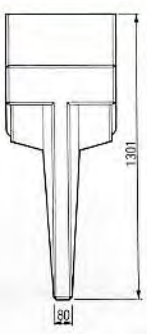


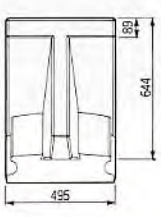


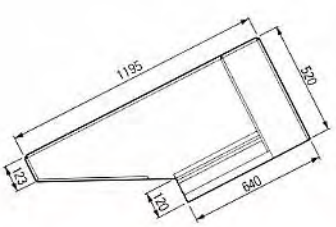
D形

規格諸元

呼び名	使用区分	主要部寸法(mm)	体積(m^3)	参考質量(kg)	使用数(個/m^2)
D形	天側端	1195×495×520	0.1137	261	―――







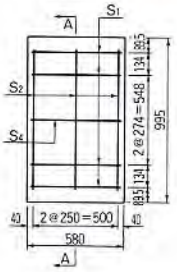
■配筋図Ⅳ型 2.0割

A形

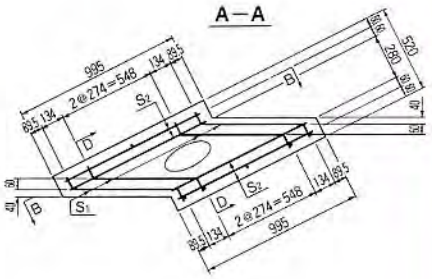
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	2.015	4	8.060	0.560	4.514	⊏
S2	φ6	0.840	10	8.400	0.222	1.865	—
S3	φ6	0.855	5	4.275	0.222	0.949	—
S4	φ6	0.520	1	0.520	0.222	0.115	—
計						7.443	

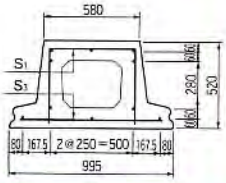
B−B



A−A



D−D

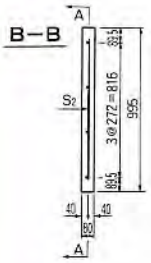


B形

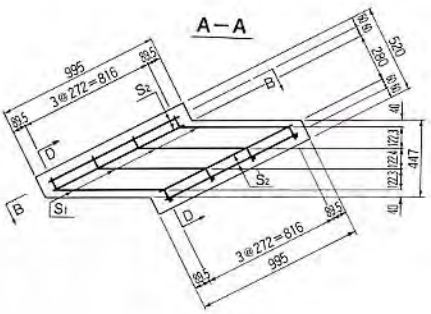
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	0.770	4	3.080	0.560	1.725	∼
S2	φ6	0.840	5	4.200	0.222	0.932	—
S3	φ6	0.355	4	1.420	0.222	0.315	—
計						2.972	

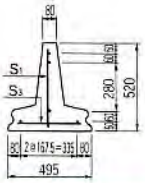
B−B



A−A



D−D

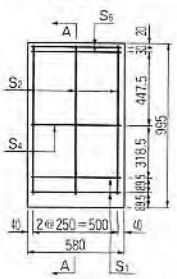


C-1形

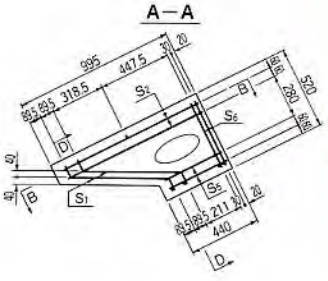
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	2.015	2	4.030	0.560	2.257	⊏
S2	φ6	0.910	5	4.550	0.222	1.010	—
S3	φ6	0.855	4	3.420	0.222	0.759	—
S4	φ6	0.520	1	0.520	0.222	0.115	—
S5	φ6	0.350	5	1.750	0.222	0.388	—
S6	D10	1.320	2	2.640	0.560	1.478	⊏
計						6.007	

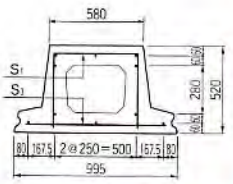
B−B



A−A



D−D

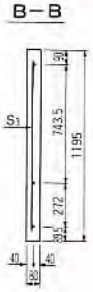


D形

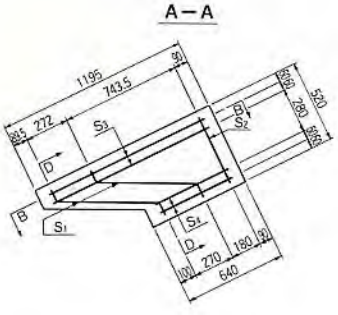
鉄筋表

記号	径 (mm)	長さ (m)	本数 (本)	総長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	形状
S1	D10	0.770	2	1.540	0.560	0.862	∼
S2	D10	0.420	3	1.260	0.560	0.706	—
S3	φ6	1.040	2	2.080	0.222	0.462	—
S4	φ6	0.470	3	1.410	0.222	0.313	—
S5	φ6	0.355	5	1.775	0.222	0.394	—
計						2.737	

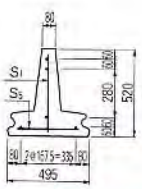
B−B



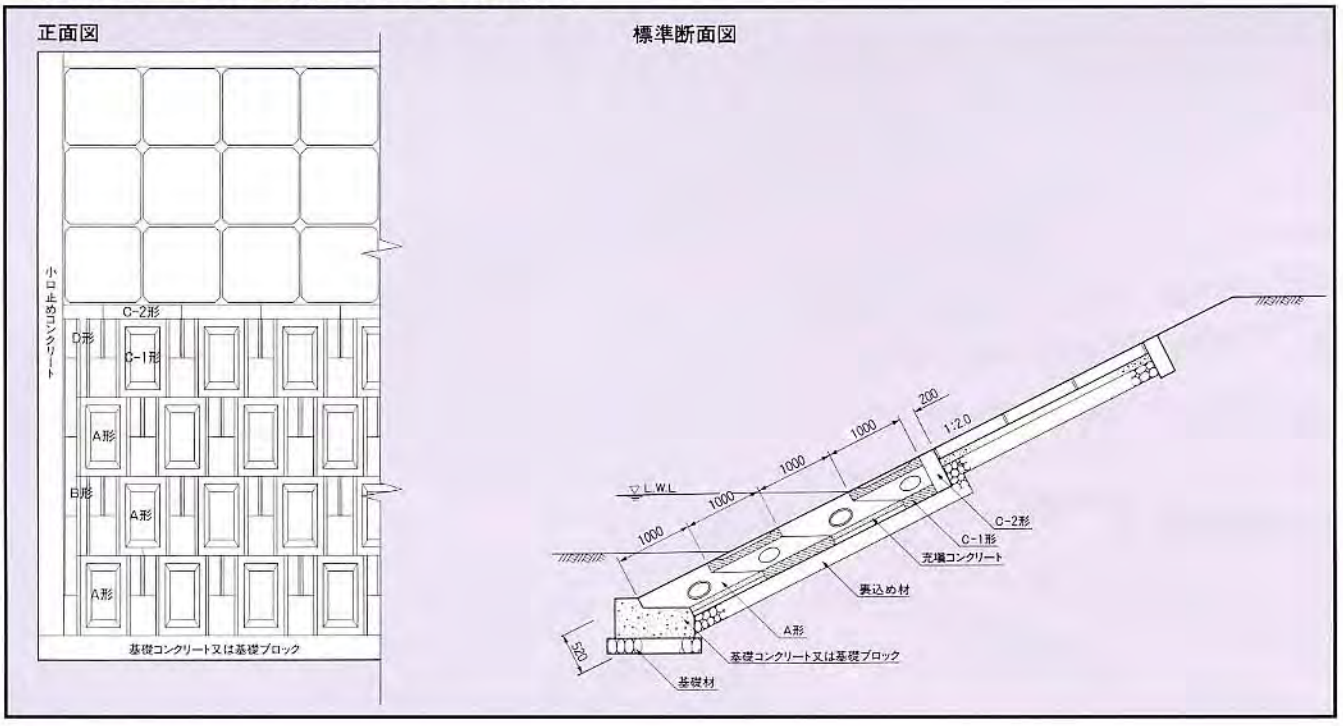
A−A



D−D



■積みブロックと組み合わせた場合



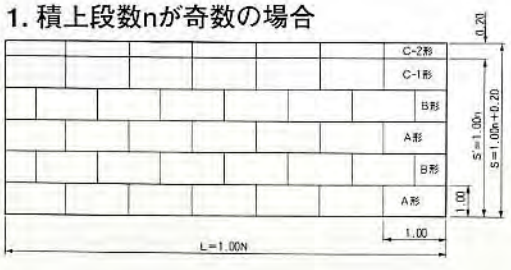
■数量算出式

施工区画に対するブロックおよび充填コンクリートの標準所要量は次式によって求めます。

呼び名	積上段数が奇数の場合	積上段数が偶数の場合
A 形	$N_A=(L-0.5)\cdot(S'-1)$	$N_A=L\cdot S'-L-0.5S'+1$
B 形	$N_B=S'-1$	$N_B=S'-2$
C-1形	$N_{C1}=L$	$N_{C1}=L-1$
C-2形	$N_{C2}=L$	$N_{C2}=L-1$
D 形	――	$N_D=2$
充填コンクリート量	$V_C=0.0059N\cdot n-0.0033N-0.0030n+0.0004$	$V_C=0.0059N\cdot n-0.0033N-0.0030n+0.0033$

N_A :A形のブロック数(個)
N_B :B形のブロック数(個)
N_{C1} :C-1形のブロック数(個)
N_{C2} :C-2形のブロック数(個)
N_D :D形のブロック数(個)
V_C :充填コンクリート量(m^3)
S :施工法長(m)
S' :施工法長−0.20(m)
L :施工延長(m)
N :延長方向の施工列数
n :法長方向の施工段数

1. 積上段数nが奇数の場合



2. 積上段数nが偶数の場合

注1)C-2形は計算上段数(n)には含んでいません。　注2)施工区画は短形を標準とし、曲線部の場合は別途算出します。

■数量算出例

区分		単位	施工延長20.00mの場合							
積上段数		段	1	2	3	4	5	6	7	8
施工法長		m	1.20	2.20	3.20	4.20	5.20	6.20	7.20	8.20
施工面積		m^2	24	44	64	84	104	124	144	164
ブロック	A 形	個	0	20	39	59	78	98	117	137
	B 形	個	0	0	2	2	4	4	6	6
	C-1形	個	20	19	20	19	20	19	20	19
	C-2形	個	20	19	20	19	20	19	20	19
	D 形	個	0	2	0	2	0	2	0	2
充填コンクリート量		m^3	0.050	0.168	0.280	0.398	0.510	0.628	0.740	0.858